



市学童野球連盟は、来年11月初開催の金沢マラソンの運営に協力する。登録43チームの選手約800人が沿道からランナーに声援を送るほか、保護者や役員らがボランティア活動に積極的に参加する。



金沢マラソンに協力することが決まった市学童野球連盟の各チーム  
11月5日、市民野球場

# 球児800人 沿道で声援

学童43チーム「元気にもてなし」

## 保護者はボランティア

29日に三浦清宏理事長ら役員6人、8チームの主将らが市役所を訪れ、山野之義市長に協力の表明書を手渡す。表明書には「明るく『正しく』『たくましく』学童が、元気いっぱいの声援で参加ランナーを応援する」との文言を盛り込む。

各チームの児童は、ユニホームを着用し、沿道から声援や個性ある応援でランナーを励ます。役員や保護者らチーム関係者はボランティアに参加して、国内外のランナーを金沢らしいおもてなしで迎える。いずれも協力事項として明文化する予定だ。

連盟登録チームは東西南北の各地区に10〜11ある。児童は所属する地区から近いコースに並ぶ。金沢マラソン組織委員会事務局は「元気な子どもたちからの声援は、出場選手が42・195キロを完走するうえで大きな力になる」と期待して

いる。金沢マラソンの成功に向け、これまでに市町会連合会などの各種団体が運営協

力を表明している。事務局では引き続き団体・個人ボランティアを募集している。